

2022年度 公益社団法人春日井青年会議所 広報誌

Challenge

【ゲスト対談】

春日井市長

石黒直樹氏 × 春日井JC

“誰もが幸せを実感できるまちに”



みんなのチャレンジ

【参加者インタビュー】

わいわいスーパードッジボール大会

わんぱく相撲春日井場所

サバイバルキャンプ

お月見どろぼう

【ゲスト対談】

中日ドラゴンズ

堂上直倫選手 × 春日井JC



春日井JCの
PR動画はこちら



春日井市長

石黒直樹 × 春日井JC



Profile

春日井市長
石黒 直樹
いしぐろ なおき

1963年12月29日生まれ。
青山学院大学経済学部卒業、名古屋市立大学大学院経済学研究科修了。
1987年に春日井市役所に入庁し、産業部長や建設部長、企画政策部長を勤め、2021年12月に退職。
2022年5月に春日井市長に就任。
中部大学客員教授、名古屋市立大学大学院経済学研究科研究員。

子供の頃の人柄

色白で背高。大人しい性格だが好奇心旺盛。川遊びや、おもちゃを自分で作ることも!

学生時代の得意な教科は?

中学時代までは英語が得意でした。高校時代は政治経済で、たまたまテストの点が良く先生に褒められ嬉しく思い、頑張って勉強しました。

最近ハマっていること

オカリナ。温かく、良い音色が出ます。「大きな古時計」などを吹いています。

就任から1ヶ月。これからの意気込みを聞かせてください!

市長 私は「人生100年時代」とずっと言い続けています。これは、平均寿命が延びて高齢者が増えるということだけではなく、生まれてからの人生を100年単位で考える必要があるという意味です。今までは、生まれて、学んで、働いて、リタイアですが、これからは、生まれて、学んでから働く人もいれば、特技で生きる人、趣味で生きる人、また学び直す人、いろんなパラレルな生き方ができると思います。そういったまちを皆さんとつくりたいと思います。

Q1 なぜ市長に?
社会の世知辛さや生きづらさを変えたい!自分自身の生い立ちの経験もあり、もう少し生きやすくてできないのかな、そんな思いがあったからです。

Q2 これから挑戦したいことは?
市民の声、春日井で働く方の声、春日井で学ぶ方の声を聴くことです。声を聴いて、それを政策に繋げる、そんなチャレンジをしていきたいと考えています。

Q3 春日井市はどんなまちになる?
誰もが幸せを感じられるまちです。そのために、どうやったら皆さんに幸せを感じてもらえるのか、皆さんの声を聴きたいと思っています。

教えて! 新市長の「チャレンジ!!」

これまでのチャレンジ

理事長: 今年度、春日井青年会議所は「感動に挑戦!新時代に築け、誰もが輝くまち 春日井」をスローガンに活動しています。新時代ということで、特にこの2年は、世の中が不安定な状況の中でも、誰もが輝けるまちにするために、私たちは市民に感動を届ける活動に挑戦しております。そこで、「チャレンジ」をテーマに、これまでチャレンジしてきたことを伺いたいと思います。

市長: 行政経験35年ということで、市職員としてチャレンジしたことは2000年の介護保険制度です。「介護」という言葉自体、浸透していなかった1999年に介護保険のプロジェクトが春日井市にできました。当時、市職員4人で介護保険の制度を作ることになり、それがチャレンジでした。まず介護とはなんぞや?介護保険とは何?そんなところから積み上げていったのが、行政マンとしてのチャレンジで、一番思い出深く、思い入れがあります。

“誰もが幸せを実感できるまちに”

理事長: 介護保険はどんな思いで広げたいと思われていたのですか?

市長: 誰もが幸せを実感できること。これは行政の仕事全てに行き着きます。中でも福祉・介護という部分で、誰もが幸せになるための社会にしたい、そういった思いがありました。強い人は一人で生きていけますが、強くない人は誰かに支えてもらわないと生きていけない。支え合うことが大事だと思います。

理事長: なるほど、市長のポリシーの部分ですね。僕の中でも「市民が主役」、幸せを実感できるまちにしたいという部分がすごく共感できます。僕たちが何か事業を行う際も、市民の人たちがいかに主体を持ってやっていただけるかということが大事だなと感じる部分です。やってよかったな、楽しかったな、そういった達成感も含めての幸せの後に、僕たちの感動があると思っています。ただ単純に春日井市を発展させようというものではない、思い入れの部分がすごく共感できると感じます。

まだまだインタビューは続きます!全容はこちらから!



春日井JCと共に

理事長: 私たちも春日井市民の幸せと、また僕らからできる幸せを一緒にやっていきたいなと思っています。春日井JCに今後期待することや、こんなことをしてもらいたいということがあればお願いします。

市長: 春日井市と一緒につくっていきましょう。市役所だけでまちづくりをするのではなく、役割分担が大事です。市民の方がやること・できること。企業人たちがやること・できること。団体の方がやること・できること。行政がやること・できること。一緒にやること・できることもあると思います。明確な線は引けないですが、それでもお願いするところ、お願いされる場所、そういった役割分担もしながら、まちと一緒につくりましょう。

理事長: ちょっとした市民ができるまちづくりがきっとある。小さいことの積み重ねが大事だよという部分を僕らが市民に伝えていかないといけない。それが一緒に右からいくのか、左からいくのか、ダイレクトにとかいろいろありますが、最終的には春日井市が明るくなることをしていかなければいけないと思います。

市長: 意見交換をすとか、アイデアを出し合うとか、もし今日の機会がなかったらゼロですね。こういった機会も理事長と二人だけではなく、市の職員とJCさんとか、JCさんと地域とかいろんな組み合わせで、一緒にまちをつくっていければいいなと思います。

来年の市制80周年&春日井JC創立55周年に向けて

理事長: 来年は市制80周年ですが、実は僕らも来年55周年なんです。それも含めて一緒に何かできたらと思いますが、来年への意気込みをお願いします。

市長: 市制80周年は、昭和18年6月1日の市施行から80年間の積み重ねだと思います。これは人の積み重ねと一緒に、先人がいなければ今の春日井はないので、先人の努力にまず感謝をする。そして次の時代に、未来に繋ぐというのが80周年の考え方になると思います。

理事長: 感謝と未来に繋ぐというのがテーマで、想いとして来年やっていくということですね。JCと市民、また春日井の行政さんと一緒に何か話し合っ、何ができるのかという場もあると面白いですね。

市民の皆さまへのメッセージ

春日井市長の石黒直樹です。すべての市民の皆さまが健康で元気で笑顔で明るく生活できるように頑張ります。市民の皆さまに感謝しながら謙虚な気持ちを持ち続けて、これからも皆さまと一緒にまちづくりを進めていきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願ひします。



春日井出身・中日ドラゴンズ選手

堂上直倫 × 春日井JC



Profile

中日ドラゴンズ
堂上直倫
どのうえ なおみち

春日井市出身。愛工大名電高から2007年高校生ドラフト1巡目で中日ドラゴンズに入団。高い守備力と意外性のある打撃が持ち味の内野手。

目標の選手は？

兄である堂上剛裕。ずっと背中を見て同じ高校を受けて、プロでも一緒にできて、ずっと目標にしてみました。

好きなアニメは？

HUNTER×HUNTER



中日ドラゴンズ・堂上直倫選手 スペシャル対談「—春日井は居心地の良い場所—」

2022年7月、シーズン中で盛り上がるナゴヤ球場にて、試合後の堂上選手にインタビューさせていただきました。

- 坪川:** 本日はお忙しい中、お時間いただき誠にありがとうございます。春日井青年会議所の坪川と申します。
- 各務:** 広報を担当しています、各務と申します。
- 坪川:** そして小学校からの友人である西村君も交えて対談形式でインタビューさせていただきたいと思いますのでどうぞよろしくお願い致します。
- 堂上選手:** よろしくお願ひします。
- 坪川:** 早速ですが、堂上選手は春日井市出身ということで、春日井市に何か思い出はありますか。
- 堂上選手:** 思い出というか、ずっと高校生の頃まで春日井市で生活してきたので、地元に戻ると落ち着きますし、過ごしやすい。自分の中で居心地の良い場所ですね。
- 坪川:** そもそも野球を始めたきっかけは何だったのですか？
- 堂上選手:** 兄が野球をやっていたので、それに付いて行ったのがきっかけです。とにかく昔から野球が楽しくて、何をすることも野球が一番でした。
- 坪川:** いつからプロ野球選手を目指そうと思われましたか？
- 堂上選手:** 野球を始めた時からですね。もうそこしか見ていないという感じでした。

Q1 堂上選手にとっての挑戦とは？

人に言われるのではなく、自分でやること。自分で決めたことを突き詰めてやるのが挑戦です。

Q2 オフの日は何をしてる？

午前中は身体のケアにあてて、昼過ぎくらいから子どもたちと遊んで、9時半には寝ます！

Q3 パワーの源は？

食べることです！



- 坪川:** ありがとうございます。では、これからプロ野球選手を目指して頑張ろうという子どもたちにメッセージをお願いします。
- 堂上選手:** 何でもそうだと思うんですけど、好きなゲームであったり、自分が好きなことはとことんやると思うんです。僕の場合はそれが野球だった。子どもたちが野球が好きである限りは上手くなる。好きであれば、いろんなことを挑戦しようと思えると思うので、野球についてやり続けることが一番大事なことだと思います。
- 坪川:** ありがとうございます。自分が好きだと思うことを貫いてやっていけば結果が表れるということですね!ありがとうございました。

堂上選手にズバリ聞きたい! 一問一答

野球編

- ①日々、試合に備えてしているルーティンやこだわりは?**
結果はどうであれ、それまでの練習は絶対後悔しないようにやっています。たとえ代打の1打席でも、体の準備は欠かさずやっています。
- ②嫌いな練習は?その練習を続けるモチベーションは?**
嫌いな練習はそんなにないかな。辛いなとか身体キツイなとかもあるんですけど、その1日を無駄にしたら大事なところでミスしたり、その方が後悔と思うので、何か1個は意識してやるようにしています。
- ③内野の守備はどこが良い?**
どこでも守れなければ自分がいる意味がないので、そこで守れなかったら終わりだと信念を持ってやっています。

堂上選手のインタビュー
動画の全容はこちらから!



プライベート編

- ①遠征が多いと思いますが、リフレッシュ方法は?**
遠征中はなかなかできないですが、休みの月曜日に2人の子どものたちと遊んでいる時間が落ち着きますね。
- ②お子さんにも将来野球選手になってほしい?**
基本的に自分のやりたいことをやればいいのかと思います。強制もしないです。子どもがやりたいことを見つけるまでは、自分から勧めることもないかなと思います。
- ③奥様の作るご飯で一番好きなメニューは?**
カレーの日は子どもたちもみんな喜びますね。辛いのがあまり食べられないので、子どもも食べられるくらいのをいつも作ってもらっています。調子が良いと、大体3杯くらい食べます。
- ④どうやったら体が大きくなる?**
ウエイトトレーニングは今でも継続してやっています。子どもの時は、夜中起きてでも牛乳を飲んでいくらいよく飲みましたね。今でもよくやります。

市民の皆さまへのメッセージ

今は二軍暮らしが長く、自分の中では悔しいシーズンです。しかし、呼ばれた時に備え、準備だけはしっかり毎日欠かさずやれているので、あとは結果を出すだけです。それまでにしっかり自分の中で毎日鍛錬して、頑張りたいと思います。よろしくお願いします。





4/17

あつまれ春日井の森

～みんなでHAPPYなまちをつくらう！～

事業の様子
はこちら



市内の小学生36名と、落合公園でレクリエーションをしながら、サクラとハナモモの苗木を植樹しました。子どもたちに、身近な自然に興味を持ってもらいたいという想いが込められています。



参加者
れいなさん

初めて会った子と仲良くなれて、ハナモモと一緒に植えることができて嬉しかった。

5/15 第26回 わいわいスーパー ドッジボール大会

小学生の35チーム約250人の子どもたちが、白熱の試合を繰り広げました。仲間と繋がる大切さを実感し、仲間のために行動するところを養ってほしいという想いが込められています。



大会の様子
はこちら



4年ファイターズ

大会に向けて、ボールを取る練習と投げる練習をしました！絶対勝つ！！



人の繋がり構築委員会
加藤委員長

仲間のことを思って、自分がどう行動できるかを伝えるために、子どもたちに「ことだま」をボールに書いてもらい、それを使って試合をするということにチャレンジしました。



8/20・21

～生きる力を身につけよう、 自然から学ぶサバイバルキャンプ～

みんなの チャレンジ

参加者インタビュー



2日間のキャンプ
の様子は
こちら



小学4～6年生の子どもたち64人が、一泊二日のサバイバルキャンプにチャレンジしました。家庭では当たり前に出てくる食事、火起こしから自分たちで取り組み、大自然の中で自ら進んで行動することの大切さを学んでいただきました。



参加者
りゅうのすけくん

ロープの結び方とか水のろ過装置の作り方とか、いろいろ学べて楽しかったです。火をつけるのを頑張りました。



自然心育成委員会
大嶋実行委員長

制限されたコロナ禍の生活の中でも、自ら進んで行動する力を養うためにはどうしたらいいかをみんなで話し合い、日常生活では体験できないことにチャレンジしてもらおうサバイバルキャンプを開催しました。大変でしたが、子どもたちの笑顔がたくさん見られて良かったです。

9/10 お月見どろぼう～春日井月明かりナイト～



お月見どろぼうの
様子は
こちら



中秋の名月に合わせ、子どもたちがお菓子をもらって歩く「お月見どろぼう」を鳥居松地区の商店街や住民のご協力のもと開催しました。予想を超える来場者にお越しいただき、フィナーレには子どもたちの夢が書かれたバルーンランタンを揚げました。希薄になりがちな地域の交流の場になればという想いが込められています。



参加者

お菓子がもらえて嬉しい。
また来年もやってほしい！



保護者

普段、細い道は通らないので、こんな所にこんなお店があるんだ！と、新しい発見ができました。貴重な経験をさせていただきありがとうございました。

5/21 第32回 わんぱく相撲春日井場所

市内外の小学生約250人が、本格的な本土俵で真剣勝負の相撲を取りました。「はっきよい、のこった！！」会場ではみんなの夢が、大きな木となって飾られ、近隣地域のマスコットキャラクターも登場しました。



地域の未来創造委員会
渡辺委員長

3年振りの開催で、たくさんの参加申し込みをいただき、子どもたちの熱量を感じました。今回は春日井市周辺のJCとの共同開催ということで、子どもたちにも地域との繋がりを大事にしてほしいと思っています。

全部門の優勝者
インタビューはこちら



4年生男子の部優勝
ささきよくん

優勝して嬉しい！相撲をお父さんに
教えてもらいました。



6年生女子の部優勝
さやさん

3年生の時に3位で、とても悔しかったので、はじめて1位になって本当に嬉しかったです。家でいっぱい練習して1位とれるように一生懸命練習しました。

10

春日井まつり

主役は君たちだ！みんなで春日井まつりを作ろう
～こども Kasugai Festival～

小学4～6年生の子供達が、準備から接客までを総合的に体験できる、子供達による子供達のための出店で春日井まつりを盛り上げました。



春日井JCIオリジナルキャラクター

宵まつり

ハルコレ(春日井コレクション) It's your show time
～あなたの個性を大爆発～

ゲストにモデルの葦原海さんをお迎えし、市民モデルと共に個性溢れるファッションショーなど4つのショーを開催しました。春日井JCIのオリジナルキャラクターも誕生しました。



11

『みんなの想いを ドミノにのせて！！』

「平和」をテーマに、巨大なドミノを製作します。使用するドミノはなんと15万個！！

製作日数2日間をかけ、小学校高学年～中学生の参加者100名と共に、超大作にチャレンジします。平和への想いが込められた巨大ドミノ倒しの様子は、後日、春日井JCIのYouTubeチャンネルにて配信します。

ぜひご覧ください！

公益社団法人春日井青年会議所2022年度特別例会

みんなの想いを
ドミノにのせて!!

参加費 無料!!

11/26・27 土日

10時 9:45～17:00 11時 9:45～20:00 受付 両日共 9:15～

会場 グリーンパレス春日井 体育館

参加人数 各日50名(計100名)

対象 春日井市内の小学5・6年生、中学生

申込 申込×切:11/4(金)

応募 右QRコードの応募フォームからお申し込み下さい。

参加者全員が観戦予定の
グラントフィナーレ
の模様は後日YouTube配信予定!

JCI Kasugai



新入会員募集中!!

(公社)春日井青年会議所は志高き品格ある青年男女を募集しています。
詳細は下記記載の(公社)春日井青年会議所にお問い合わせください。
受付時間/平日(月～金)10:00～15:00
〒486-0844 春日井市鳥居松町5-45 春日井商工会館5F
☎0568-81-8480 📠0568-84-2299 春日井青年会議所 🔍検索

事業内容をチェック!!

LINE
公式アカウント
@kasugaijc

